

事業所名		発達支援スポット らいと				支援プログラム（参考様式）		作成日	2025 年	12 月	1 日
法人（事業所）理念		みんなが人生というステージに立つ主人公であり、主人公を輝かせる劇場でありたい 1. 良いところを見る。2. 穏やか、ユーモア。3. 表現することで人間力を育てる。4. 子育ての仲間									
支援方針		お子さまの成長の力をそっと支え、「楽しい」や「できた」の喜びを積み重ねながら、その子の世界を広げていけるようサポートします。小さな変化を見逃さず、関わる人たちと共有しながら、一人ひとりが自分の人生の主人公として歩んでいけるよう支援します。									
営業時間		8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	目標：自分のことは少しでも自分でできる人に、また、自分の状態を周りの大人に伝えることができる人を増やしていきます。 ・日常生活に必要な基本的な動作（更衣、排泄、食事、手洗い）を経験する機会を設け、動作の獲得に向けてサポートします。 ・自分の状態を把握し、相手に伝えること、不快な環境を自分で調整できるようになるための方法を伝えます。 ・個々の発達の特性に基づき、見通しを高めるための視覚的支援を導入し、安心して自発的に生活行動を展開できる環境設定を行います。									
	運動・感覚	目標：身体を動かす中で自分に合った感覚を見つけながら、粗大運動や微細運動に自信をもって挑戦できるようにしていきます。 ・感覚遊具（トランポリンやスイング等）を通じて、自分が「楽しい」「落ち着く」「すっきりした」等の心地よいと感じる身体感覚を体験できるようサポートします。 ・鉄棒や縄跳びなどに、少しずつ段階を踏んで挑戦し、「できた！」という達成感を積み重ねます。 ・感覚の特性に合わせた環境調整を行い、作業療法士を中心に評価しながら、運動や製作活動に安心して取り組めるようにします。									
	認知・行動	目標：お子さまの認知特性を把握してお子さま自身の「わかる」を増やしていきます。 ・アセスメントを通して一人ひとりの認知特性や学習スタイルを把握し、興味や得意を手がかりにした個別課題を設定し、達成感を積み重ねられるよう支援します。 ・集中しやすい環境を整えつつ、色や数字などの学びや、自分で取り組める課題を設定し、時間の流れもタイマーや植物を育てる体験などを通して楽しく学べるよう支援します。 ・写真やカードを使ってスケジュールを示し、自分で「今から何をするか」がわかり、見通しをもって過ごせるようになることで、安心して活動に取り組めるようにします。									
	言語 コミュニケーション	目標：自分で決めることができる人、そして決めたことを周りの人に伝えることができる人を育みます。 ・表情や身振り、サイン、絵カードなど、その子に合った方法で「伝わった」と実感できる経験を重ね、伝えることへの自信を育てます。 ・日常の中で「貸して」「いや」「待って」などの言葉や身近なやりとりを学び、友だちや大人とやり取りを楽しめる場面を増やしていきます。 ・自分の名前や文字に親しみ、ひらがなの形や音を遊びの中で楽しく学びます。ゲームや製作活動を通じて「読めた！」「書けた！」という喜びを経験できるようにします。									
	人間関係 社会性	目標：発達スポット らいとがお子さまにとって安心できる居場所となり、自分らしく過ごすとともに、仲間づくりや集団参加につながる支援を行います。 ・担当職員との信頼関係を大切に、その後、他の職員とも徐々に関わりながら、お子さまが安心して通える居場所を作ります。 ・小さなグループでの協力遊びから始め、順番を待つなどのルールを守る経験を通して、自然に仲間づくりや集団生活への参加を支えます。 ・自分の好きなことや苦手なことを知り、見通しやルールを使って行動を調整する力を育てます。集まりや個別の時間で自分の気持ちについて話す時間を作り、好きなことや苦手なことについてどう取り組んでいくか一緒に対策を考えていきます。									
家族支援		・日々の連絡帳や定期面談で支援の方針や目標を一緒に確認します。 ご家族がお子さまをより理解し、関わり方を工夫できるようサポートし、親子で安心して過ごせる環境作りを支援します。また、送迎が難しい場合は片道15分圏内で送迎を行います。保護者学習会も開催します。					移行支援		・保護者の同意を得て園へ訪問し、療育目標や取り組みを共有しながら、「療育の見える化」と支援グッズの活用を進めます。 ・入園・就学前の学習会やサポートブック作成で移行支援を行い、卒業後も相談窓口や交流会で継続支援と仲間づくりを支えます。		
地域支援・地域連携		・療育センターや相談支援事業所、子育て支援課等と必要に応じて連携を図り、ご家族のサポートを行います。 ・公園遊びや外出の機会を増やし、児童館や図書館などの地域資源を活用して地域とのつながりを支えます。					職員の質の向上		・定期的に講師を招いて職員研修を実施します。 ・職員それぞれの専門分野研修に参加し、自己研鑽を積んでいきます。 ・保護者、関係機関との連携をはかるためのコミュニケーション力の向上を図ります。		
主な行事等		・季節を感じる活動（ごっこあそび、製作、お話、歌）等を取り入れいきます。 ・夏のあそび、夏祭り、ハロウィン、お別れ会なども開催していきます。 ・定期的な避難訓練も実施します。									